平成９年４月25日 第３種郵便物認可

The Democratic Party of Japan

民主 PRESS MINSHU

号外
民主党プレス民主編集部
〒100−0014
東京都千代田区永田町１−11−１
電話03-3595-9988（代表）
press@dpj.or.jp
http://www.dpj.or.jp

<発 行>
民主党参議院比例区第37総支部
〒822-0022
福岡県直方市知古 764-1
☎0949-22-0574

2008, 06
絆
kusuo-report Vol.10®
Since2007.09

参議院議員 大島九州男

北から南まで 笑顔で過ごせる国へ

沖縄及び北方問題に関する特別委員会 質問

二〇〇七年九月十三日の国連総会で「先住民族の権利に関する国連宣言」が採択された時に賛成した日本が、翌十四日の外務大臣会見では「日本ではアイヌ民族を先住民族であると結論を出していない」と述べるなど、現在まで、政府は頑なまでにアイヌの人達を先住民族として認めようとしませんでした。

その理由を、「国際的に確立した先住民族の定義が無く、二〇〇七年の国連宣言においても先住民族の定義規定がないから」とする高村大臣に、大島議員は「少数民族であり独自の文化・宗教・言語を持って昔から北海道に居たという事実だけを見た時に一般的には先住民族というカテゴリーに入るのではないか?」と食い下がりました。すると、高村外務大臣から「一般的に先住民族と感じる方が多い事を否定するものではない」と、一歩進んだ発言を引き出しました。

また、沖縄県沖縄市の産業廃棄物の山や汚水の実態を示し、環境省に調査・監督・情報開示など徹底した指導をする様に促すと共に、岸田沖縄担当大臣に沖縄のゴミ問題の実態を、もっとよく見て欲しいと要望しつつ、廃棄物業者だけが悪いのではないとした上で、ゴミは資源だと考え、返還される基地の跡地に最新技術を駆使したリサイクル・産業廃棄物研究所を設立し環境問題を考える最前基地と位置付け、同時に多くの雇用が生まれる場とするなどのビジョンを示しました。

そして、沖縄を訪れる殆どの人達が利用する那覇空港の災害時の対応と、航空機の離発着が二〇一五年でパンク状態になる点を指摘、周辺住民との充分な話し合いの下での空港の能力向上策の促進と災害時の素早い対応への計画策定を要望しました。

169回通常国会 大島九州男 - 委員会質問

大島議員は、今通常国会の各委員会において下記の質問を行いました。
その模様は、参議院のホームページで閲覧する事ができます。（公開期間は、次期国会召集の前日まで）

- ○ 3/28［総務委員会］
  議題；平成20年度NHK予算について
- ○ 3/31［文教科学委員会］
  議題；公立義務教育諸学校の学級編成及び教員定数の標準に関する法律の一部を改正する法案について
- ○ 5/23［沖縄及び北方問題に関する特別委員会］
  議題；沖縄北方問題対策について
- ○ 5/27［文教科学委員会］
  議題；日本原子力研究開発機構法の一部を改正する法案について

文教科学委員会 質問

放射性廃棄物の安心・安全な保管処理について

「独立行政法人 日本原子力研究開発機構法の一部を改正する法案」について六十五分間にわたり質問をしました。

この法律は日本の原子力開発研究の根幹にも関わる大切な法律です。

現在、各電力会社が原子力発電で出す放射性廃棄物は青森県六ヶ所村に集められています。

しかし、全国二千四百ヶ所にも及ぶ理化学研究所や国、独立行政法人、大学、医療機関そして民間事業者等が発生させた放射性廃棄物は各自が保管をしているのです。

しかも、保管スペースの限界や保管状況に問題が有り、色々と議論されてきたのです。

この度の法案は、その電力会社以外が出す放射性廃棄物を、独立行政法人がその下部組織である社団や財団を使って集め、処理や保管をしようという法案なのです。

今までよりは、一歩進んだ法律では有るのですが、初めての試みですから手探り状態である事は否めません。

大島議員は、まずこれら関連機関や審議会への役人の関与、天下りや予算状況などを細やかにチェックした後、この法案が「発生者責任」の観点から、どう捉えての法案なのか?

また、本当に安心安全な保管や処理になるのか?を質問しました。

そして、徹底した安全の確保と情報の開示、そして国の責任を明らかにする様に求めました。

渡海文部科学大臣は、「独立行政法人が行う事業とは言え、国家が当然責任を持っていると理解して欲しい」と発言。

この発言は衆議院での答弁より一歩進んだ答弁となりました。

統合医療・議連・勉強会

五月二十七日、大島議員が事務局次長を務める「統合医療を普及・促進する議員の会」第三回勉強会を開催。

日本柔道整復師協議会の登山会長・成清氏・田中氏から柔道整復師のおかれている環境や問題点などをお聞きしました。

法律のあり方や医療費の節減の観点からも非常に興味深い話でした。

今後は、専門の小委員会を設けて検討しながら『民主党の政策への反映』をめざしていく事が確認されました。

党員・サポータ登録 目標達成

大島議員が総支部長を務める 民主党参議院比例区第三十七総支部」二〇〇八年度・党員・サポーターの本部定時登録が終了しました。

昨年に立ち上がった総支部ですので、実質、本年が最初の活動でしたが、皆様のご協力を経て、党員・サポーター併せて目標数の千名を超える一〇八二名の方に登録していただきました。誠にありがとうございました。

党員・サポーターは年間を通して募集しております。引き続き皆様のお力を民主党と大島九州男にお貸し頂ければ幸いです。

なお、民主党参議院比例区第三十七総支部が所属している福岡県連主催のパーティが六月三十日（会費＝一万円・グランドハイアット福岡）。民主党本部主催のパーティが七月十四日（会費＝二万円・ホテルニューオータニ）開催されます。いまこそ国民主体の政治をつくる事を決意する会です。

皆様のご参加をお待ちしております。詳細は民主党参議院比例区第三十七総支部まで

携帯からアクセス
大島九州男ブログ
<携帯 QR コード>